

## 全学年対象の交通安全教室

柏木小学校では、地域が一体となり児童たちの安全を守ろうと取り組まれています。

スクールガード  
川嶋 善興門さん

スクールガードとして見守りを始めたのは8年前、二人目のお孫さんが小学校に入学した時とのこと。雨の日も雪の日も毎朝、同じ交差点で立ち続け、そのお孫さんも現在は中学2年生という月日も流れました。

活動場所は学区内の中でも危険とされる交差点、通勤時間とも重なり勤務先へ急ぐ車が大変多くヒヤリとする場面も多い交差点です。川嶋さんは「活動していて良



▲活動の励みになっている児童から届いたお礼の手紙



▲毎朝交差点で児童たちの安全を見守る川嶋さん

「ハンドルの握るドライバーには免許を取得した時の初心をも一度思い出してほしいと願っています。私自身は、きょうよう(今)か

「おつみ通学路交通アドバイザー 好子さん」  
学区単位で県から委嘱される『おつみ通学路交通アドバイザー』

として活動する辻さん、通学路における危険個所の点検や学校での交通安全教室への協力などが主な活動です。  
辻さんは「児童が交通事故で被害にあつた際に憤りを感じます。原因はドライバーによるほんの少しの気の緩みです。地域一体となった活動で少しでも子どもたちを事故から守ってあげたいと思います。活動していて良かったことは児童や保護者の方とも顔見知りになれたことやお礼の言葉をかけていただけることが大変嬉しいです。  
これまで子どもたちが地域で大変お世話になったので、自分ができることで地域に恩返しのできたらという気持ちでこれからも活動を続けていきたいです。」

1年生



▲横断歩道を渡るときの基本を実践する児童

2・3年生



▲▼学校グラウンドを使用し行う安全教室

4・5・6年生



▲地域の駐在所とも連携し実施する交通安全教室

## 52年目の「折り鶴運動」

朝宮小学校では、5、6年生児童によるドライバーへの啓発活動が地域の方々とともに52年間も続けられています。

地域で交通事故を1件でもなくそうと、児童たちがすべて手作りした折り鶴付きの短冊ストラップや学校茶園で摘んだお茶などが手紙を添えてドライバーに手渡されました。



▼「運転手さんへ」と手書きの封筒に入れ手渡される啓発品



▲「安全運転をお願いします」とドライバーに呼びかける児童



こうした児童の活動に対してこれまで多くのドライバーからお礼の言葉も届けられています。

### これまでに届いたドライバーからの声

- ・この活動のために安全運転について考える機会になっています。
- ・いただいた手紙は、会社に貼り付け、会社全体で安全運転により一層取り組んでいきます。
- ・お守りを車に乗せてこれからも安全運転に努めようと思います。

### 児童からのメッセージ

- ・地域で一人でも安全運転をされる方が増えてくれますように。
- ・交通事故のない朝宮地域になりますように。

### ちょっと豆知識

横断歩道では自動車は一旦停止しないと違反になるの？

長野県	85.2% (トップ)
滋賀県	20.7%
※全国平均	30.6%

この数字は今年8月に行われたJAF(日本自動車連盟)による信号機のない横断歩道で一時停止した車の割合調査結果です。

滋賀県は全国平均からみても停まる車が約10%も少ない結果となっています。道路交通法では「横断歩道を渡ろうとしている人がいる場合は、一時停止し通行を妨げてはならない」とあり、取り締まりの対象になります。

特に青信号で右左折する場合などは、歩行者がいないかどうかを必ず確認しましょう。また横断歩道を渡ろうとする場合はドライバーへの意思表示をしっかりと行いましょう。

